

J A とうと自己改革レポート

～令和7年度の主な取り組みについて～



次世代につなぐ持続可能な農業の実現

■対話運動でニーズに対応

担い手農家や営農組合を訪問し、栽培技術の提案やアグリサポート資金等活用のご相談を行うとともに、事業活動への反映につなげる取り組みを進めています。



■地産地消促進のための加工品の販売強化

ふれあいパーク浅野・多治見営農センターをはじめ、地元直売所や各種イベントにて、地産地消の促進ならびに加工品の販売強化に取り組んでいます。



■ニンニク栽培の推奨

担い手農家を対象にニンニク栽培を推奨して栽培面積の増加による農業所得の増大に取り組んでいます。



「食」と「農」を支える仲間づくりによる地域活性化への貢献

■食農教育活動

地域の未来を担う子どもたちに、食を支える農業の役割、農業と生活・社会との関わり、地域の食文化、いのちと健康の尊さなどについて理解を深めてもらうための「食農教育」を、関係機関や地元の農家の皆さんとの協力を得ながら行っています。

○小学生のこめ作り体験



○園児の秋の収穫体験



○小学生の大豆栽培



■地域貢献活動

- 地元3市および各種団体への寄付金協力
- 公共福祉施設への精米寄贈
- こども食堂への運営費支援
- 地元3市農業祭への協賛
- 管内小学校への児童向け農業雑誌「ちゃぐりん」寄贈
- 地域防犯、高齢者・子ども見守り活動
- 献血活動
- 支店協同活動
- フードドライブ協力
- 職場体験
- 地元スポーツクラブの活動を支援



▲寄付金協力



▲こども食堂支援



▲農業祭



▲献血活動



▲地域イベント参画

J A とうとは地元の農業・地域振興をはじめ、組合員・利用者の皆さまの生活設計や事業運営のお役に立てるよう取り組んでまいります。今後とも一層のご支援、ご理解をお願い申し上げます。